

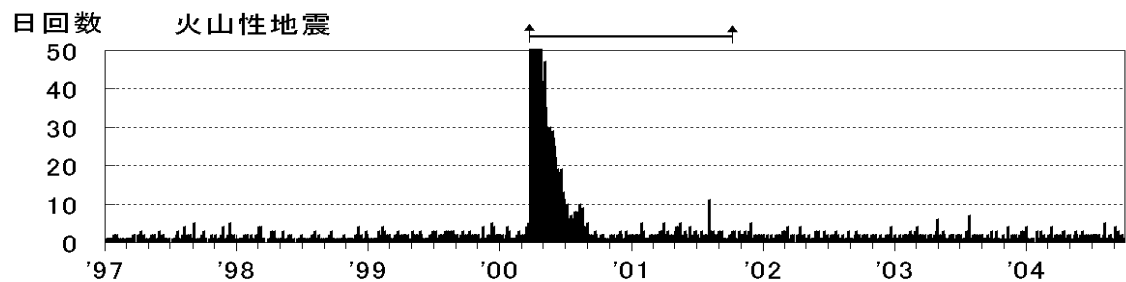
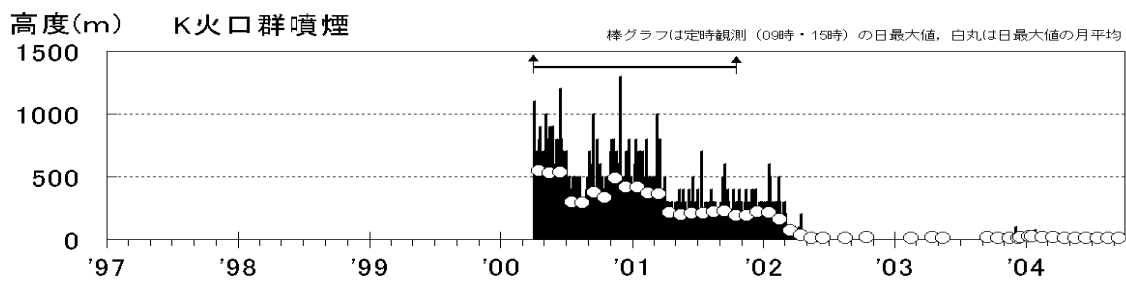
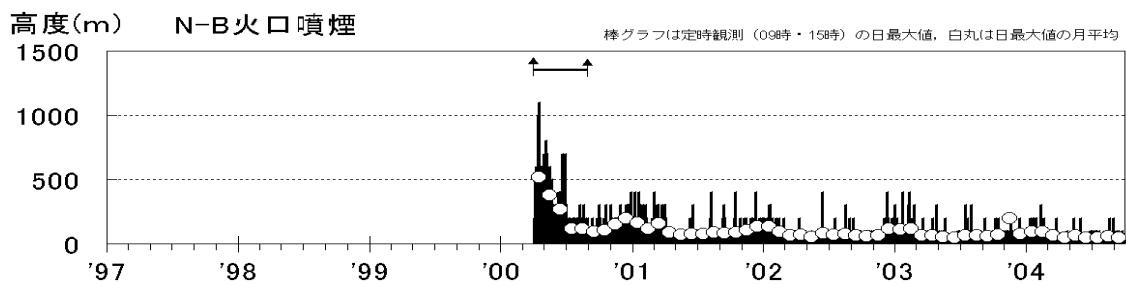
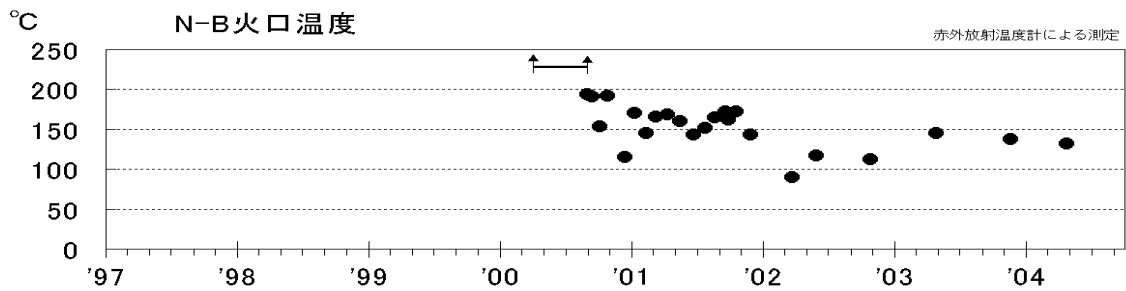
有珠山

1 概況

火山活動は静穏な状態が続いています。

2 噴煙の状況

西山西麓(N)火口群にあるN-B火口の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上おおむね100m以下で推移しました。金比羅山(K)火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴煙が見られていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。



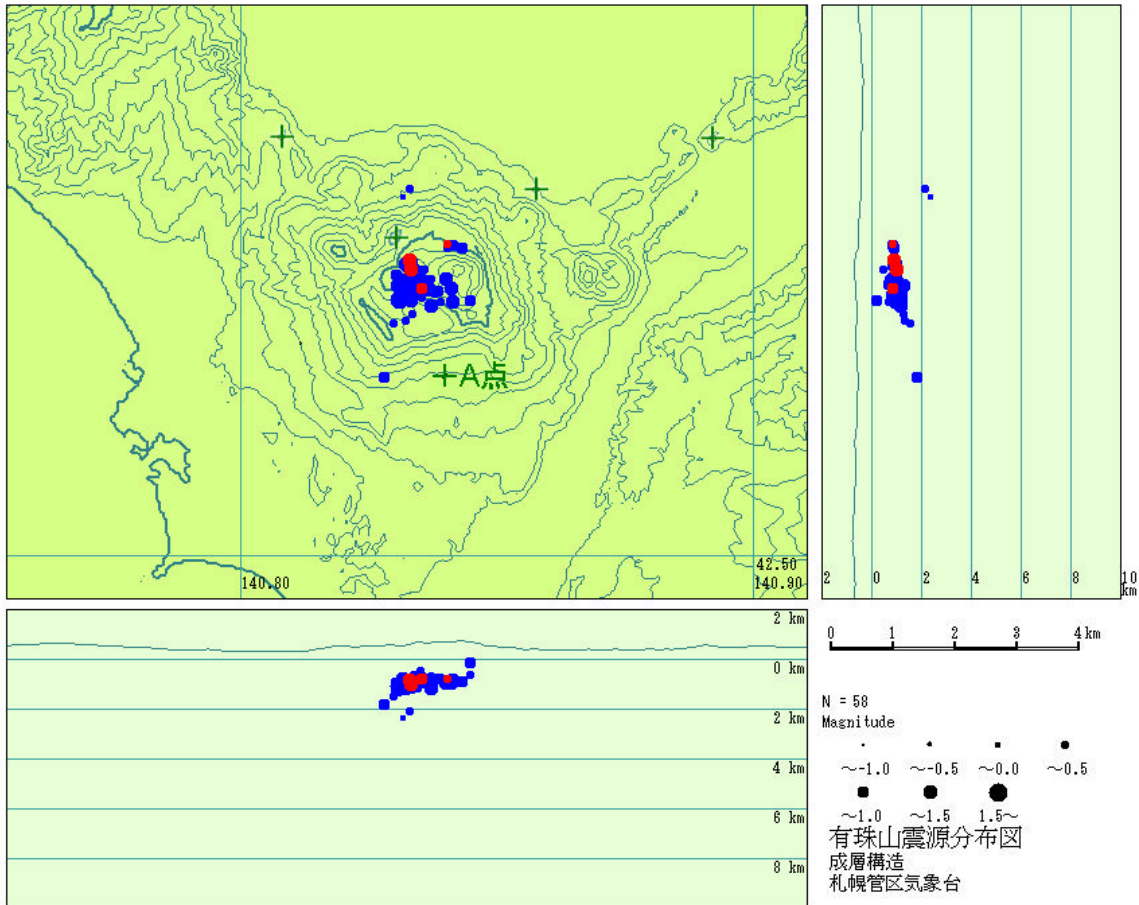
最近の火山活動経過図(1997年1月1日~2004年9月30日)
で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 地震および微動の発生状況

今期間の火山性地震の回数は1日あたり0~4回と少ない状態で推移しました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(A点)

2003~2004年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震回数	13	20	22	15	21	20	28	28	23	26	30	25
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



有珠山の震源分布図(丸印:震源 +印:地震観測点)

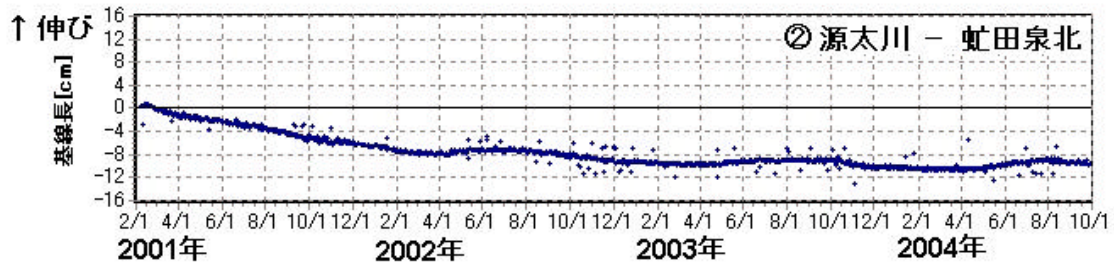
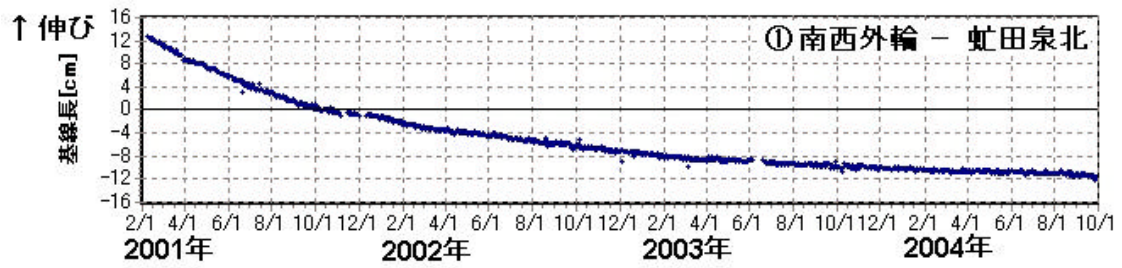
赤丸は今期間(2004年9月1日~30日)に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの11ヶ月間(2003年10月1日~2004年8月31日)に求まった震源を示しています。

震源は山頂部直下の海拔下1km前後に集中しており、今期間の震源もほとんどがこの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、特段の変動は認められません。



基線長変化 (2001年2月9日~2004年9月30日)

